

平成15年5月23日

パナマ運河用船舶牽引電気機関車54車両受注

東洋電機製造(株)は、パナマ共和国運河庁よりパナマ運河を航行する船舶牽引用の特殊電気機関車(54両、約130億円)を三菱商事(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)によるコンソーシアムで受注し、技術部門のまとめは当社が担当しました。2006年前半まで段階的にパナマ運河の主要な水門であるペドロミゲル水門、ガツン水門に納入して参ります。

今回受注した車両は、狭隘なパナマ運河を船舶が運行する際に岸壁と衝突するのを防ぐ役割を担うもので、数両の特殊機関車が両岸からワイヤーで船舶を牽引し、船舶の位置を水路の中央に固定する仕組みになっています。

また、1997年に国際入札を経て26両受注・納入した増備車で、その車両の操業実績が評価され、今回の受注に結びついたものです。

パナマ運河においては、1964年以降、82両の東洋電機製電機品を搭載した電気機関車が活躍しておりますが、この度の受注は旧型機関車の次世代型機関車への交換・増強計画の一環で、1997年に受注した26両、2001年の20両と、そして今回の54両が完納されると合計100両の日本製特殊電気機関車が、パナマ運河の安定運営に大きく貢献する事となります。

各メーカーの製作分担について

- *東洋電機製造株式会社 ウインドラスおよびコンバータ/インバータによる駆動システム
- *川崎重工業株式会社 車体および各機器のギソウ
- *三菱重工業株式会社 多段変速装置



*本件に関するお問い合わせ先

東洋電機製造株式会社 営業本部 海外営業グループ(土屋)

03-3535-0641